

---

# **笑えない僕の日常**

天蜜 摺樂

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

笑えない僕の日常

### 【Zコード】

Z0462C

### 【作者名】

天蜜 摺樂

### 【あらすじ】

詩です。ふらふら調の、脱力を誇る文章です。やたらとギャグ意識でどこか失笑してしまいます。

今日は日曜日 でも何もやる事がない

秋風が涼しくて やる気もない

裸足でキツチン歩いていたら 画鋲が踵に刺さつたけれど  
そんなことも気にならないくらい 僕の部屋は散らかっている  
洗濯物がはためくブランダ 干したのは一年前  
取り込むのは面倒だし 干しつぱなしも面倒くさい  
見てみぬふりもなんだかつまらない つまらないことが少し楽しい

明日は月曜日 でも何もやる事がない

寝たりするのもいいけれど なんだか面倒くさい

コンロでパンを焼いてみたら 一瞬で炭に変わったけれど  
そんなことも気にならないくらい 僕は今とても眠たいんだ  
お供え物がカビてる仏壇 供えたのは五年前  
取り替えるのは気が進まない カビたまんまも気が進まない  
見てみぬふりにはもう飽きた 飽きることにも飽きてきた

そんな僕の笑えない生活はまだ続く

今日は月曜日 でも昨日と変わってない

干しつぱなしの洗濯物 カビているお供え物

ガム風船を空に投げたら 顔にべたりと張り付いたけれど  
そんなことも気にならないくらい 僕の視界は狭いんだ  
家の隅に蜘蛛の巣が 家を建てたのは八年前  
蜘蛛なんて飼つた覚えが無い でもそれはそれでいい

明日も変わらない そうそれが一番だ

隅の蜘蛛は今日も元気 外にははためく洗濯物

カビの生えたお供え物 顔に張り付くガム風船  
笑えない僕の日常

今日はもう寝よう 明日は起きなくていいよ  
部屋には一酸化炭素をためておく 不完全燃焼つていいよね

今日とやみうなら  
明日ともやみうなら  
命ともやみうなら

でも死ぬのって面倒くさい 生きてるのも面倒くさいカビ  
考えることも 面倒くさい

(おじまこ)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0462c/>

---

笑えない僕の日常

2011年1月28日14時07分発行